

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています



2023年
4月1日発行
No.514

April

4

特集

骨粗しょう症

— 注射で治療が

できるようになった — P-1

• 新任医師紹介 P-4



病院理念

私たちは利用して下さる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

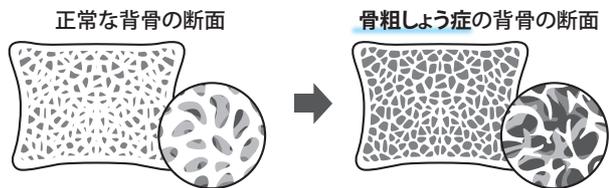
総合病院 聖隷浜松病院

骨粗しょう症

— 注射で治療が
できるようになった —

Q 骨粗しょう症ってどんな病気？ 予防できるの？

骨粗しょう症は骨が減少してもろくなり骨折しやすくなる病気です。



ちょっとした転倒や尻もちで、背骨、手首、腕のつけ根、足のつけ根を骨折し、高齢者の要介護（寝たきり）になる原因の一つとして恐れられています。

骨粗しょう症で骨折しやすい部位



骨は成長期に蓄えられ、女性は閉経とともに骨量が急速に減るので女性に多い病気です。骨が減るだけでは症状がないので放置すると、骨折が起きてしまいます。そうなる前に、特に女性は閉経を迎えたら一度は骨密度検査を受けましょう。背骨は症状なく、いつの間にか骨折していることがあるのでX線検査で確認しましょう。骨密度が標準の70%未満の人や背骨や足のつけ根の骨折歴がある人は薬で治療を開始します。

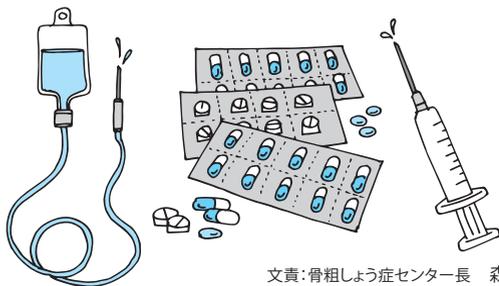
予防は、成長期に骨を十分に蓄えることから始まります。カルシウム、ビタミンD、ビタミンKの豊富な食事と定期的な運動習慣が基本となります。カルシウムは1日800mgの摂取が推奨されています。カルシウムが豊富な食材として牛乳、小魚、小松菜、アーモンドなどがあります。ビタミンDはシタケ、鮭、ビタミンKは納豆に豊富に含まれています。1日10分程度の日光浴でもビタミンDを身体で作ることができます。運動の基本は体重負荷が骨に伝わる運動を継続すること、屋外での無理のないウォーキング習慣などがおすすめです。骨粗しょう症の骨折の90%以上は転倒で起こります。高齢者には、転倒予防に有効なスクワットや片足立ちなどのバランス運動もおすすめします。

Q どんな薬で治療するの？

薬には、3種類のタイプがあります。

- 1 骨吸収※を抑える薬 ※骨が壊されること
- 2 骨を作る薬
- 3 骨の材料を補給する薬 (活性型ビタミンD、ビタミンK、カルシウム)

近年、内服薬にくわえ、より効果が期待できる注射治療薬が多くなっています。骨吸収を抑える注射治療薬には、月1回や年1回のビスホスホネート製剤、半年に1回のデノスマブがあります。骨を作る注射治療薬には、毎日または週2回自己注射するテリパラチド、月1回のロモソズマブがありますが、治療期間は1年または2年に限定されます。どの薬を使うかは骨粗しょう症の重症度によって異なりますので、担当医に相談しましょう。



文責：骨粗しょう症センター長 森 諭史

さらに詳しい情報などを、YouTubeの「聖隷浜松病院チャンネル」で配信しています。ぜひ、ご覧ください。

YouTube 聖隷浜松

検索



新任医師紹介

今年も桜の花便りとともに
大勢の医師が着任しました



肝胆膵外科
上田 太一郎
ウエダ タイチロウ
日本医科大学 (2010年卒)



小児科
西田 大恭
ニシダ タイスケ
名古屋大学 (2010年卒)



呼吸器内科
青野 祐也
アオノ ユウヤ
浜松医科大学 (2011年卒)



呼吸器外科
沖 智成
オキ トモナリ
浜松医科大学 (2011年卒)



新生児科
織辺 圭太
オリベ ケイタ
滋賀医科大学 (2014年卒)



小児神経科
沼本 真吾
ヌモト シンゴ
愛知医科大学 (2014年卒)



新生児科
木下 麻莉子
キノシタ マリコ
琉球大学 (2015年卒)



小児科
芹澤 龍太郎
セリサワ リョウタロウ
大阪医科大学 (2015年卒)



てんかん科
堀田 龍矢
ホッタ リョウヘイ
名古屋市立大学 (2015年卒)



小児科
松林 広樹
マツバヤシ ヒロキ
名古屋市立大学 (2015年卒)



腫瘍放射線科
池之平 勉
イケノヒラ ツトム
浜松医科大学 (2016年卒)



血液内科
中野 洸太郎
ナカノ コウタロウ
浜松医科大学 (2016年卒)



眼形成眼窩外科
平塚 諒
ヒラツカ リョウウ
慶應義塾大学 (2016年卒)



呼吸器内科
日笠 美郷
ヒガサ ミサト
島根大学 (2016年卒)



眼形成眼窩外科
宮下 翔平
ミヤシタ ショウヘイ
兵庫医科大学 (2016年卒)



脳神経外科
荒川 朋弥
アラカワ トモヤ
名古屋市立大学 (2017年卒)



外科
恩田 禎子
オンダ テイコ
島根大学 (2018年卒)



外科
齋藤 保隆
サイドウ ヤスタカ
島根大学 (2018年卒)



形成外科
丸岡 潤平
マルオカ ジュンペイ
九州大学 (2018年卒)



消化器内科
山下 大貴
ヤマシタ ヒロタカ
昭和大学 (2018年卒)

新任医師紹介



小児科
久保田 悠介
クボタ ユウスケ
滋賀医科大学 (2019年卒)



呼吸器内科
杉浦 拓馬
スギウラ タクマ
千葉大学 (2019年卒)



小児科
高橋 昂暉
タカハシ コウキ
東北大学 (2019年卒)



泌尿器科
村岡 桂
ムラオカ ケイ
徳島大学 (2019年卒)



心臓血管外科
安野 優樹
ヤスノ ユウキ
日本医科大学 (2019年卒)



膠原病リウマチ内科
雪嶋 俊孝
ユキシマ トシタカ
浜松医科大学 (2019年卒)



乳癌科
内山 碧
ウチヤマアオイ
浜松医科大学 (2020年卒)



形成外科
境 直隆
サカイナオタカ
鹿児島大学 (2020年卒)



腎臓内科
鈴木 優紀
スズキ ユキ
昭和大学 (2020年卒)



外科
辰巳 諒
タツミ マコト
福井大学 (2020年卒)



総合診療内科
富山 嘉月
トミヤマ カツキ
琉球大学 (2020年卒)



内分泌内科
長尾 夕夏
ナガオ ユカ
藤田医科大学 (2020年卒)



総合診療内科
仲吉 朝基
ナカヨシ トモキ
新潟大学 (2020年卒)



循環器科
彦坂 宣紀
ヒコサカ ヨシキ
広島大学 (2020年卒)



神経内科
柳澤 輝一
ヤナギサワ ケイチ
横浜市立大学 (2020年卒)



病理診断科
浅野 祐輝
アサノ ユウキ
山梨大学 (2021年卒)



外科
上山 聡仁
ウエヤマ アキト
帝京大学 (2021年卒)



総合診療内科
柏井 康彦
カシワイ ヤスヒコ
香川大学 (2021年卒)



麻酔科
九万田 大郎
クマンダ タロウ
東京医歯科大学 (2021年卒)



耳鼻咽喉科
森福 宏
モリフクヒロシ
日本医科大学 (2021年卒)

●救急科

中安 ひとみ
ナカヤス
浜松医科大学 (2017年卒)

●上肢外傷外科

松浦 真典
マツウラ マサノリ
岩手医科大学 (2017年卒)

●救急科

井上 敢之
イノウエ タカユキ
琉球大学 (2021年卒)

●整形外科

井上 文太
イノウエ フミヒロ
佐賀大学 (2021年卒)

●眼科

笠 珠莉
リウウ ジュリ
兵庫医科大学 (2021年卒)

臨床研修医(1年目)紹介

●総合診療科

揚村 遼
アゲムラ リョウ
東京慈恵会医科大学 (2023年卒)

●総合診療科

荒井 祐人
アライ ユウト
熊本大学 (2023年卒)

●総合診療科

川本 あずさ
カワモト アズサ
日本医科大学 (2023年卒)

●総合診療科

伊藤 諒太
イトウ リョウタ
浜松医科大学 (2023年卒)

●総合診療科

上田 華子
ウエダ ハナコ
北里大学 (2023年卒)

●総合診療科

岡部 真子
オカベ マコ
東京慈恵会医科大学 (2023年卒)

●総合診療科

濱廣 優輝
ハマヒロ ユウキ
長崎大学 (2023年卒)

●総合診療科

川北 カイキ
カワキタ カウキキ
旭川医科大学 (2023年卒)

●総合診療科

佐々木 彰之
ササキ アキユキ
東北大学 (2022年卒)

●総合診療科

高橋 里奈
タカハシ リナ
東京女子医科大学 (2023年卒)

●総合診療科

深作 航平
フカサク コウヘイ
京都大学 (2023年卒)

●総合診療科

藤田 祐也
フジタ ユウヤ
浜松医科大学 (2023年卒)

●総合診療科

藤野 桃子
フジノ モモコ
杏林大学 (2023年卒)

●総合診療科

松島 由依
マツシマ ユイ
宮崎大学 (2023年卒)

●総合診療科

山川 菜穂子
ヤマカワ ナホコ
福島県立医科大学 (2023年卒)

●総合診療科

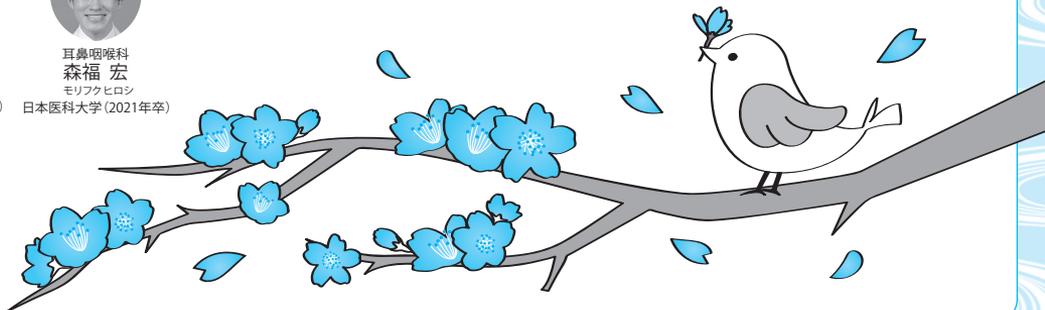
山本 航輝
ヤマモト コウキ
名古屋市立大学 (2023年卒)

2023年4月の医師数
307名(4月1日現在)
よろしくお願ひします!

※3月上旬時点で写真撮影ができていない医師は、文字のみの紹介とさせていただきます。

◆今月の色:桜

いつもは二人の桜坂
枝の小鳥も明るい笑顔を
待っている





聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ 紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る選定療養費として7,700円(税込)を別途負担いただいています。原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ **地域医療連絡室(JUNC)** ☎053-474-8801
(月～金曜 9:00～17:00、土曜 9:00～12:00/祝日を除く)

再診の方へ 予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがあります。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡ください。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ **外来受付センター** ☎053-474-0100 (月～金曜 9:00～16:45)

産科の受診をお考えの方へ

妊娠検査薬等で妊娠が確認できれば、紹介状は不要です。受診希望日の7日～10日位前までに、下記までご連絡ください。

▶ **産科外来(直通)** ☎053-474-3067
(月～金曜 14:00～16:45/祝日を除く)

面会の方へ 現在、面会に制限があります。詳しくはホームページをご確認ください。

面会時間…月～金曜 14:00～20:00、土曜・日曜・祝日 10:00～20:00

- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会を遠慮いただいています。
発熱/咳・痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢

ご来院の方へ

駐車場の収容台数に限りがあり、大変混み合いますのでなるべく公共交通機関(電車・バス)をご利用ください。

医師との面談時間について(ご協力のお願い)

原則、平日(月～金曜)8:30～17:00です。

- 緊急の場合は、この限りではありません。
- 医師の都合(外来診療や手術の延長等)により面談が上記時間外になる場合もありますが、ご了承ください。
- やむを得ない事情がある場合は、ご相談ください。



ジョイント・コミッション・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222
発行責任者 院長 岡 俊明